



あなたと 議会を結ぶ 議会だより



今年もよろしくお願ひします

主な内容

- ◆ 議長新年の挨拶・今年の抱負 2
- ◆ 町づくりワークショップ・町民との意見交換会 3
- ◆ 所管事務調査報告・議会広報研修会報告 4
- ◆ 議会活動報告・12月議会について 5
- ◆ 一般質問 6～14
- ◆ 令和5年 第4回定例会議決結果 15
- ◆ 議会の動き・議会傍聴 16



ちなポー
知名町マスコットキャラクター

年頭の挨拶

知名町議会議長

福井 源乃介



町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。令和6年の新春をご家族おそろいで健やかに迎えのことに心からお慶び申し上げます。さて、コロナ禍から抜け出し行動制限もなくなり通常の日常が戻って参りました。本町においても各種行事やイベントが盛大に開催され、コロナ前の活気あふれる町になって来ました。今年の4月には知名町のシンボルタワー、ランドマークとなる役場新庁舎が完成して、豊かで活力と潤いに満ちた町・更に伸びゆく町知名町になっていきます。また、昨年は奄美群島日本復帰70周年の記念の年でありました。ロシアによるウクライナ戦争の悲惨さを目の当たりにしながらパレスチナとイスラエルの戦争が勃発、自国第一主義・極右化など混沌とした世界になってきました。人類が平和の尊さ平和のありがたさに触れて、戦争や紛争のない世界になってもらいたいと思います。

さて、私は議論の質を高め町民から信頼され町民の付託にきちんと応える議会・町民目線の議会を目指して開かれた議会、議会改革と議員の意識改革に取り組んできました。このためにコロナ禍にあっても町内の各種団体との意見交換会・まちづくりワークショップ等を開催し、コロナ禍後はいち早く町内6カ所に出向いて議員と語る会を開催し、町民の皆様の声に耳を傾けるとともに政治への関心を高める活動をしてきました。特に多くの課題を解決するために調査研究し、専門性を高めて町民の代弁者である議員の資質の向上が重要であり、各種研修会や議会勉強会の充実に努めてきました。議員4年の任期もラストイヤーとなりましたので、集大成として本年各委員会で町長へ政策提言を行います。総務文教常任委員会は0歳児から6歳児を対象とした子育て対策、経済建設常任委員会は新規就農者への対策をまとめて提出します。今後も議会活動と議員活動を充実させて町民福祉の向上につなげていきます。本年8月には議員の改選です。女性議員の誕生を熱望しています。これまでは男は仕事、女は家事とややもすると既成概念化されてきましたが、女性も一人の人間として物事に取り組み自分らしさを発揮し輝いて行くことが大切であり、議会でも議会活動と出産や育児や介護等の両立しやすい体制整備・条例の改正を行っています。また、女性議員自らが働きやすい環境作りを提言して改善できればよいと思います。これこそが議会改革であり男女共同参画であります。

結びに令和6年が町民の皆様にとって最高の年となりますようご健勝・ご活躍・ご多幸をご祈念申し上げて年頭の挨拶といたします。

今年の抱負

福井議長	求ム女性議員。人口の半分は女性です。その代弁者がいないのはおかしな話。一緒に町政を進めていきましょう。	西 議員	全ての町民のために町民と共に黙一燈、照一隅で願って行きます。
外山副議長	問題の本質は何か、常に考え、その解決に向け全力で取り組む。今年もその思いを忘れずに取り組んで参ります。	川畑議員	町の発展に向けて、常に住民の声に耳を傾け、責任感を持って行動し、最善の努力を尽くしてまいります。
根釜議員	「町民一人一人が一步踏み出せる」施策をモットーにみんなで創る知名町！	窪田議員	農業・漁業・商工業の安定と所得の向上を地域振興の基盤に!! 町民の皆様の福祉向上と世界の平和を願う。
新山議員	地域の課題や要望を把握し町民の付託に応え、町民福祉向上、魅力、活力ある町作りに取り組んで参ります。	城村議員	一期目最後の年、議員になった意義を問いただし、更なるステップアップのため勉強と行動あるのみ。
今井議員	町の皆様の声を真摯に受け止めて、議会や一般質問で取り上げ、町民の生活向上に邁進してまいります。	奥山議員	今年は三月、六月の二回で定例会が終わります。また町と成し遂げたいことがあります。目標に向かって走ります。
宗村議員	初心に戻り町民の声を最大限にお届け出来るように努め改選の節目の年に残された任期を全とうしたいと思います。	福川議員	町民の要望や懸念を真摯に受け止め、それに対応できるように一生懸命がんばります。

議会改革に関わる研修会

知名町議会では、議論の質を高め、町民の付託に応える議会を目指して議会改革に取り組んでいます。

今回は議会アドバイザーの青森大学社会学部教授の佐藤淳先生をお招きして、2日間の日程で議会改革に関わる研修会を開催しました。まず様々な職種、年代の方々と議会が一緒になって「知名町の10年後の未来」について話し合うワークショップ体験会が行われました。議員がファシリテーターとなって行われたワークショップでは、和やかな雰囲気の中にも活発な意見交換が行われ、参加者が描く未来の知名町について多くの意見が出されました。今後は参加された皆様が今回の経験を活かし、それぞれの立場で地域づくりに参加していただくことを期待します。引き続き、議会改革の本丸である「議会からの政策サイクル」について議員研修会が行われました。政策サイクルとは町民との意見交換会から、政策のタネを拾い上げ、議員間討議を重ねて首長への政策提言に繋げ、住民福祉向上に寄与する取り組みのことを言います。本議会では議員任期最終の6月議会に、町民意見を起点とした政策提言書の提出を予定しています。

今回は、政策サイクルのプロセス、議会の話し合いの質を上げる議員間討議の手法について実践を交えて学ぶことができました。常に変革を求めなければ進歩はありません。町民福祉の向上という共通目標に向かって、今後も知名町議会は議会改革に取り組んで参ります。

議会改革推進会議 委員長 外山 利章

総務文教常任委員会では、本町の第6次総合振興計画の中のアクションプランNo.8に「安心して出産し、子育てができる環境づくり」を課題として取り組んできました。

今回のワークショップでは、更にターゲット層を絞り、「未就学児世帯の子育て支援」をテーマに話し合いを進めました。サウンドカードを使い、限られた時間の対話ではありましたが、改めて町民の皆様の声を拾う事が出来ました。

ここで、その中のいくつかを紹介したいと思います。

①町の在り方（ビジョン）

例) 子育て世代が住みたい町

②少子化・人口減少対策

例) 出生率の上昇

③憩いの場の創出

例) 子育て支援センター建設

④男性の育児参加

例) 子育てスキルアップ

他にも様々な声がありましたが、紙面の都合上ご理解ください。町民の声として、「和気あいあいとした雰囲気に対話が出来て良かった。」の声が私達としても嬉しく思うところでした。今後は、今回抽出した課題等を参考にし、今任期中の政策提言に繋げて行けたらと思います。

総務文教常任委員会 委員長 根釜 昭一郎

経済建設常任委員会では、「稼げる農業」をテーマに掲げ、課題設定を行うこととしました。

今回行われたワークショップでは、専業農家の方、畜産農家の方、兼業農家をされている皆さんと意見交換会を行い、課題を抽出することができました。今回は3班に分かれて、サウンドカードを使っただけの意見交換会だったので最初は戸惑いもありましたが、皆さんの意見や思いを聞くことができました。

その中でも多かった課題（キーワード）として土地、機械、経済支援（新規就農支援）、情報提供、技術取得、生活環境等がありました。

今回、特に重要だと思われたのは新規就農者支援だと考えました。委員会で話し合いを重ねてもなかなか進まなかったのですが、関係機関、関係団体とのヒアリング、今回のワークショップに参加していただきました皆さんの意見が聞けて良かったと思います。

どの地域でも人口減少、担い手不足等の問題がありますが、知名町の基幹産業である農業を衰退させないように、今後も調査・検証・検討を行い、目標であります今任期中に政策提言ができるように進めていきたいと思えます。

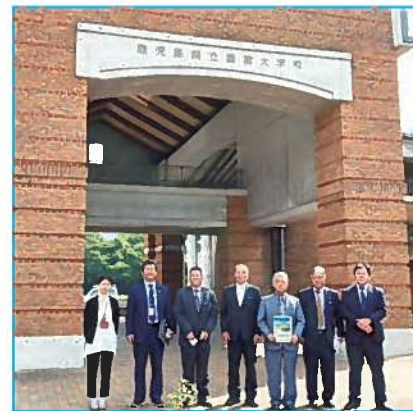
経済建設常任委員会 委員長 新山 直樹

稼げる地域をつくる農業・水産業・観光業を軸とした、農商工等連携や6次産業化の推進など新規就農支援に向けての視察研修

経済建設常任委員会副委員長 川畑 光男

◎ 鹿児島県立農業大学校では

農業生産に関わる実習
農業の科学的な側面や最新の技術研究
環境や持続可能な農業に関する意識
スマート農業の実現に向けた次世代農業技術の開発
県産農畜産物の高付加価値化による競争力を図るための研究



県立農業大学校

◎ 鹿児島県農業開発総合センターでは

- 農業技術の研究開発においては農機具関係の利用状況と開発研究、土壌分析や施肥計画の作成、防除対策の技術指導を行っている。
- 農産物の加工、販売ルートの改善や新たなビジネスチャンスの支援

◎ 農業視察については 株式会社カマタ農園及び株式会社hishi

農業は生活環境にも密接にかかわる重要な活動です
農業の技術と知識の進歩も感じ、農業は科学技術の進歩と努力
最新の農業技術や栽培方法について学ぶ機会があり、その進化に驚きました。
農業の多様性も感じ、地域の特産品や伝統的な農業文化に触れた。

安心して出産し子育てができる環境作りに向けて の視察研修

総務文教常任委員会副委員長 城村 誠

天草市を中心に視察を行いました。保育園留学を行っており本町では里帰り保育も人材不足により難しい状態にあります。まずは人材確保の体制構築の必要性を強く感じました。市町村合併により小学校が半減、中学校が3分の2に統廃合されており人口減少に歯止めの効かない本町でも議論は避けて通れないでしょう。新庁舎建設に伴い利用されない施設・建物をいかに町民の福祉向上につなげる再利用ができるか議会に投げられた重い仕事です。貴重な財源を利用した視察でありどのような結果を示せるかが重要だと考えます。

子どもたちの未来のため議会はどうあるべきか見直す機会となりました。詳しい報告内容は知名町議会SNSでご覧いただけます。



天草市役所 牛深支所

議 会 広 報 研 修 会

11月7日に行われた市町村議会広報研修会に全議員が参加しました。議会広報クリニックに本町議会だよりを提出し、内容全般について総評・特徴・改善点と講評を頂きました。議会報編集委員会では、講評事項を幅広く協議して改善できるところは改善し、議会広報活動の充実と住民と共に歩む議会を目指して全議員が共有することができました。

議会報編集委員会 窪田 仁



ワークショップ



町長へ決算審査の申し入れ



議会と町民の語る会

議会活動報告



議会勉強会



ボランティア活動



令和5年第4回定例会

た。可決しました。また、単独議案8件も原案可決又は可決しました。



議案審議は職員への給与に関する条例、町長、議会議員の報酬に関する条例を原案可決しました。令和5年度一般会計補正予算（第4号）では物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金で物価高騰対応重点支援給付金支給を含む、4会計の補正予算を原案可決しました。

今定例会では、町政全般に対する一般質問に9名の議員が登壇して、県道国頭知名線の正名字内県道、町誌編纂作業、学校教育、商工業の振興、文化財振興、下平川小学校の渡り廊下、移住・創業・事業継承、知名漁港の施設整備、島ムニについて町政発展のために活発な議論が交わされました。

9名の議員が町政を問う

一般質問は、行財政全般にわたる政策論議の場であり、より良い町政を目指して町政の各方面にわたって一般質問が行われました。

6ページから掲載の内容は、各質問者が執筆した主な項目についての質問と答弁の要旨であり、文責は質問者にあります。（質問順に掲載）



西
文男
議員



正名字内の県道を見童生徒のために

動画配信は
こちら↓



町長／総合的に検討します



正名字内県道の状況

問 正名字内の県道を安全に見童生徒が通学出来るよう早期に歩道設置を要望。

答 正名字内県道は、小・中・高校生の通学路として利用しているが歩道設置が無く交通量も多く危険な状態が続いている。字民全員の要望書を町長宛に提出し早期歩道設置の整備が出来ないか伺う。

問 町長 正名字から合計3回県道に歩道設置するよう要望があり、町からも県へ9月の沖永良部地区土木事業連絡会で要望書を手渡し要望しましたが、事業中の進捗状況を踏まえ総合的に検討します。

問 知名町全域の道路に設置してある防犯灯を電力消費の少ないLED化する取り組みはどうなっているか伺う。



子育て支援拠点そら・SORA

問 子育て支援拠点そら・SORAの施設を利用する子ども達が増え一時預かり広場等の施設利用時に圧迫感や活動時に制限が出てくる場合があり施設の拡充が必要だと思いが町の見解を伺う。

答 町長 8字の負担軽減のため今年度は8字で実施をします。国の重点支援地方交付金を活用し字の省エネ取組みを支援するため、今定例会に設置の予算を計上したところです。

問 町長 10月までの一日平均利用は、想定内の利用人数・定員になっていきますが、現場、利用者の声を聞くとのびのび快適に過ごす場所としては、スペース不足と認識している。国の「こども誰でも通園制度」等も含め、今後施設のサービスクラス拡充等、検討していきます。

問 保育園こども園の保育を必要とする要件に育児休業制度の取得が出来ない親に子育て応援きつぷの拡充は出来ないか伺う。

答 町長 現在も在宅において乳幼児を保護する保護者等に年に2回、12枚×3000円補助しているところです。財政等踏まえ検討していきます。



あしびの郷・ちな

問 あしびの郷・ちな空調設備が故障しているが伝統文化の発表やイベントに影響は出していないか伺う。

答 教育長 あしびの郷・ちな空調設備の不具合により施設を利用された方や来場された皆様方にご不便おかけしました事と、施設の維持管理が徹底されていなくなつたことに関し教育委員会として深くお詫びいたします。空調のガス漏れが原因で補修のため補正予算に予算を計上したところです。

今井吉男議員



実効性のある取り組みを

町長／出来ることから取り組む

動画配信は
こちら



知名町からクリーンセンターへのゴミ搬出量 (t)		
H29年度	H30年度	R 1 年度
1,619	1,914	1,855
R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
1,865	1,880	1,818



沖永良部クリーンセンター

問 令和2年9月「知名町気候非常事態宣言」から3年経過、二酸化炭素排出量削減の一環としてゴミの減量化に向けた実効性ある取り組みを。

答 町長「ゴミ減量化に向けて、実践できることから島内全体で検討していく。」

問 令和6年度当初予算編成時期、費用対効果の観点から事業成果を検証して次年度予算編成すべきでは。

答 ①交流機会創出事業（南北連携）事業費982万円。
②定住促進空き家活用事業。地域力創造アドバイザー委託料560万円・空き家調査業務委託料（4月～6月）190万円。



沖永良部バス

問 町内で二酸化炭素排出量が多いのは車両で、今井町長をはじめ職員は月に1回バス通勤、全世帯に回数乗車券を配布して、二酸化炭素削減の実効性ある取り組みを。

答 町長「新庁舎移転と同時に、役員公用車を一括管理システムを導入、更新車両は電気自動車へ移行し、二酸化炭素の削減を図る。」



テレワークオフィス

問 ③知名町テレワークオフィス（総事業費1億3235万円）
④サテライトオフィス運営委託料60万円
⑤単独補助団体で年度末繰越金が補助金額を超過している団体の補助金見直しをすべきでは。

答 町長「①の南北広域連携関係人口創出事業については働き手不足などを抱える北海道利尻町と連携して人材確保を目指した結果、令和3年度から5年度までの3年間で3名の人材派遣があった。」

問 田中教育長は、令和4年6月定例会で「町政施行80周年の令和8年度中に刊行できるように鋭意努力する」と答弁、さらに令和5年3月10日に、町誌編纂検討委員会による「知名町誌第二版」編纂検討結果を答申しましたが、町政80周年まであと3年間で刊行できるのか伺う。

答 教育長「現在、今井町長とも協議中ですが、編纂委員長と執筆者の選任等に時間を要することも考えられ、発刊時期が令和8年度以降にずれ込む可能性も考えられます。」

の人材派遣があった。
②の定住促進空き家活用事業は、一般社団法人ツギノバと業務委託締結。地域創造アドバイザー委託料は、空き家調査業務委託料も含めて一般社団法人ツギノバと契約した。
③の知名町テレワークオフィスについては、知名町への企業進出支援や交流、中長期宿泊に対応できる施設です。
④については、テレワークオフィスの指定管理者に一般社団法人ツギノバを指定した。
⑤については、町補助金交付団体の中には、繰越金が非常に多い団体もあり、補助金廃止や縮小を行う。」

動画配信は
こちら↓



不登校児童生徒への対応は



奥山雅貴議員

町長／毎日連絡している

問 十一月の学校訪問で学校側から聞きましたが、不登校児童生徒の再登校への取り組みを伺います。

答 教育長は各学校では毎日電話連絡を行い、所在や健康状態を確認しております。加えて、学級担任や養護教諭が定期的に家庭訪問を行ったり、週末に保護者との教育相談を行ったりして、児童生徒の状況や今後の対応等について確認しております。

後とも、性的マイノリティへの配慮等、時代に即して対応するよう、各学校に助言してまいりたいと考えています。

問 町ホームページに記載されていないが、医療費の無料化は高校3年生まで対応しているが、何らかの事情で高校にいかず、専門学校や訓練校に通う子はどうなのか。

答 町長は知名町子ども医療費助成条例においては、その対象となる「子ども」の定義を、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者としております。

学校に行きづらと思ったきっかけの上位回答（複数回答）

先生のこと	23人
カリキュラムが合わない	20
身体の不調	20
友達のこと	20
先生が誰かを怒るのを見るのがしんどかった	18
わからない	17
授業の進み方	16
勉強がわからない	16
なぜ学校に行かなくてはならないのか理解ができない	14
いやがらせやいじめがあった	13

不登校になった理由

問 1歳になるまでオムツの支援はできないか。

問 近年、法律、条令が現在の生活に沿って変わっています。町立の小中学校の校則は何年ごとに現在の生活や、時代にあったルールに改正されるかを伺います。

答 教育長は教育委員会として、校則等の見直しは自分たちのルールを自分たちでつくる教育の機会と捉え、今



オムツ

知名町 ふるさと納税

乳酸菌で育てた **赤いジャガイモ**

てれやさん **1箱** (約5kg)

ふるさと納税

答 町長は平成31年度から開始の子育て支援金で出生祝金を50,000円、令和4年度から開始の出産子育て応援交付金事業で、妊娠時と出産後それぞれ50,000円ずつあわせて100,000円を支給しており、重ねて新たな支援が必要との認識は持っておりません。

問 出産祝い金を1人50万円にあげられないか。

答 町長は今後の扶助費の増額につきましてはより慎重に検討すべきものであると考えております。

問 ふるさと返礼商品の価格が倍近く上がったものがあります。この値上げによる売れ行きはどうなのか伺います。

答 町長は寄付額の3割以下に加えて、「返礼品+経費の総額は寄付金額の5割以下に収める」とのルールが従来定められておりますが、令和5年10月1日より、制度が厳格化されたことにより寄付金額を上げざるを得ない状況。

動画配信はこちら



整備した水を農業振興に

町長／農家負担を軽減し導入を推進



外山利章議員

畑かん整備と農業振興

問 土地改良区の賦課金の統一は。

答 町長 農家の不利益とならない料金統一と持続的な運営が行えるよう指導、助言を行うて参ります。

問 総代会で提示された金額では事業導入、水利用に支障をきたすのでは。

答 耕地課長 県内の土地改良区と同程度となるよう町としても要望していきたい。

問 整備した水を効率的に使い、農業振興に繋げることが重要では。

答 町長 基幹産業を育成するために町が投資をしていく必要があると考えています。

問 事業完了区にも固定式スプリンクラー導入が出来るよう国、県への働きかけを行うべきでは。

答 耕地課長 今年度中に聞き取り調査を行い、面積を把握して事業計画に繋げられるよう検討していきたい。



効果的な水利用で農家所得アップ

商業の振興と担い手確保

問 空き店舗の実態把握は行われているか。

答 町長 商工会へ派遣の地域活性化企業人による空き店舗調査が行われています。

問 空き店舗活用事業の創設はできないか。

答 町長 実態把握を行った上で補助金や企業版ふるさと納税など活用しながら創設を検討できればと考えています。

問 「中心市街地活性化計画」の策定に向けた取り組みを進めてはどうか。

答 町長 商店街自体がどうありたいかアイデアを出してもらうことが必要。その場で作ることは行政として必要だと考えています。



商店街のこれからを考える機会を共に

問 技術者の育成確保に向けた施策が行われているか。

答 町長 現在、実施している施策はない。

問 各業界へヒアリングを行うべきでは。

答 町長 各社、ここ数年特に人材不足が課題。人材育成については県の事業等を活用し対応しているとのこと。

地元企業の育成

問 ゼロカーボンアイランド事業における地元企業との連携や技術者養成は。

答 町長 地元でできることは地元で発注。対象事業者が組合などの組織を自主的に立ち上げた際は、資格取得等に関する費用を助成し、育成することを検討しています。



地元企業体による受注で技術者の育成と確保を

窪田 仁 議員



国指定に向けたツール墓群

町長／令和8年度目指す

動画配信はこちら



農業振興について

問 ①本町の農畜産物生産額は、39億4987万5千円で、6億4849万9千円のマイナス、前年比で85・9%、切り花と果樹を98%に他の農産物は80%台です、農畜産物生産額の目標を50億円に向けた対策と施策を図れないか伺います。

答 農林課長 天候不良により生産額の減少、各作物の適期適正管理や畑かんの活用による、生産の安定向上を図り、新規品目との輪作や種苗の購入補助の支援を行っている。

多品目の導入や先進的な技術による生産性の向上を進め目標額を50億円やそれ以上設定できる様に取り組んで参ります。

問 ②耕作農地の幹旋について。町が農地を10a、3万円で借り受けて農地の少ない新規就農者やイターン者に農地の借用ができる仕組みはないか。

答 農林課長 町が間に入つての貸し借りはできない。農林課と農業委員会、関係機関が連携し将来の地域農業・農地利用の在り方について地域で

の話し合いを重ねていく。農業の持続的発展を図るために、新規参入者やイターン者の確保と育成に取り組む。



路地栽培ができるテップウユリ

文化財振興について

問 ①国の文化財指定に向けた、ツール墓群（屋者琉球式墳墓・アーニマガヤツール墓・屋子母セージマ古墳・花窪ニヤート墓）の進捗状況について。

答 教育長 現在、沖永良部島の古墓群の令和8年度の国指定に向け、事業を進めております。先月は第4回知名町古墓調査検討委員会を開催しました。令和6年度末に両町合本で刊行する各委員の専門分

野の執筆依頼、国指定までの事業計画を審議し、承認をいただいたいております。

問 ②国の文化財指定に向けた事業、ツール墓群の予算の総額はいくらですか。

答 町長 令和元年度～令和4年度の予算額は、2739万円のうち、国庫補助金負担額が、1369万5千円と、県補助負担額が52万8千円となっております。

問 ③国と県の関係者と連携は取れていますか。また、両町の古墓推進委員及び各関係相談者と連携は、取れていますか。

問 前回に続き、県道（知名国頭線）の屋子母字は、大量の水が側溝に集まり県道を横断する暗渠から字内と農地に水が流れて濁流となり被害が発生する。県道の側溝の整備と横断暗渠の有効な整備対策は取れたのか伺います。

答 町長 字公民館で区長、字役員が参加し、対応方針について協議を行い、対策について検討しているところです。

道路整備について

答 町長 事業計画に遅れがないように国や県、隣町と連携して取組を進めております。



600年前に造られた屋者琉球式墳墓



知名国頭線

福川勝久議員



渡り廊下の建設をするべきではないか

町長／前向きな検討を行う

動画配信はこちら



下平川小学校

問 下平川小学校予防改修工事にあわせて校舎から体育館までの渡り廊下の建設をしてはどうか。

答 町長 本年度着工予定の下平川小学校予防改修工事は、渡り廊下の建設工事が補助対象外となっていることから、予防改修工事には入れることはできません。渡り廊下の建設工事については学校側と協議を持ち、事業規模を決定次第、関係課と相談して進めて参りたいと思います。

現在、応急措置としてすぐに来ることはないか、学校と協議をしているところであります。

問 下平川小学校にてPTAによるキャリア教育の授業『大先輩に学ぶ』を行っています。子どもたちにとって身近な保護者が講師となって各々の職業の紹介と魅力等を子供たちに出前授業します。各小学校でもこのような取り組みを推進してはどうか。

答 教育長 身近な大人によるキャリア教育は、地域のよさを学び、地域の産業や魅力への理解を深めるためにも有意義であると考えます。ご質問にあるような取組みですが、各学校が保護者の勤務先等の協力を得ながら、様々な取組みを行っております。教育委員会としても、キャリア教育の重要性について、今後とも、各学校を指導してまいりたいと考えております。



遊歩道

問 大山遊歩道のグラウンド前から電波塔前(1024m)の区間整備をしてはどうか。

答 町長 早急に伐採を行い通行できるように整備いたします。

問 大山遊歩道の維持管理はどのようにされているのか伺います。

答 町長 大山遊歩道の維持管理につきましては、農林課の会計年度任用職員が野営場を中心に4名体制で管理を行っ



太陽光パネル

ておりますが、ご指摘の遊歩道区間につきましては、近年管理が不十分な状態となっております。今後は、作業スケジュールを見直し、計画的に定期的管理を行ってまいります。

問 ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ事業は令和5年度の実施事業が年度内に完了予定ですが、完了しなかった場合の対応策はどう検討されていますか。

答 町長 工期など厳しい状況にありますが、事業メニュー間の事業費調整を行うなどして、年度内完了に向けて事業を進めているところです。

根釜昭一郎議員



「移住・創業・事業承継」の三位一体施策を

町長／人材不足解消、関係人口創出へ

動画配信はこちら



空き家活用事業



空き家活用事業

問 今後の計画は。

答 町長 現在本町の移住定住施策として、平成24年度から空き家活用事業（定住促進住宅）、平成26年度から空き家情報登録事業（空き家バンク）、令和3年度から移住定住促進空き家活用事業、令和5年度から移住定住相談窓口事業の4事業を実施しているところですが、同事業を活用し、直近5年間で本町に移住された方々の実績は、空き家活用事業12組、空き家情報登録事業47組（重複物件含む）、移住定住空き家活用事業2組、移住定住相談窓口事業3組、合計64組となっております。

問 本町の移住施策は。

答 町長 今後の計画につきましては、先ほど申し上げました4事業を継続し実施するのに加え、来年度から総務省が実施している、ふるさとワーカーキングホリデー事業を新たに実施する予定であります。

本事業は、都市部の若者などが、一定期間地域に滞在し、働いて収入を得ながら、地域住民との交流や学びの場などを通じて、地域での暮らしを丸ごと体感し、地域との関わりを深める機会を提供することを目的としております。本事業は特別交付税措置の対象となっており、町の財政負担も少なく、町の課題である雇用者不足の解消、町内宿泊者の増加、関係人口の増加等に繋げて参りたいと考えております。

同一事業メニュー対照表

	島ちゅチャレンジ応援事業 (令和4年度)	奄美群島民間チャレンジ支援事業 (平成26年度～令和3年度)
事業メニュー	起業支援型	起業支援型（立ち上がり支援）
		起業支援型（成長促進支援）
	事業拡大型	事業拡大型（立ち上がり支援）
		事業拡大型（成長促進支援）
		事業拡大型（付加価値創出支援）
	デザイン復興支援型	事業拡大型（デザイン復興支援）

問 現在、行っている創業支援策は。

答 町長 現在、鹿児島県による起業支援プロジェクトや奄美群島広域事務組合による島ちゅ（しまんちゅ）チャレンジ応援事業、本町では地域おこし協力隊起業支援があり、本町の事業においてはこれまでに1件の支援を行っております。

問 事業承継策は何を行っているか。

答 町長 商工会において事業承継セミナーや個別相談会を実施しております。町としては、鹿児島県よろず支援拠点を紹介し、専門家からのアドバイス・支援をいただいております。

新山直樹議員



携帯電話不感地帯の改善は

町長／県に電波改善要望を提出

動画配信は
こちら↓



大山展望台周辺

問 大山周辺や昇竜洞周辺、沖泊浜公園は携帯電話不感地帯だと思われるが今後の対応、対策は。

答 町長 大山周辺、昇竜洞周辺については、県の方に電波改善要望をしており、沖泊浜公園についても緊急時、災害時等に対応が困難にならないように電波改善要望を行っています。昇竜洞事務所は今年の十一月から衛星インターネットを導入し、インターネットに繋ぐ環境が整っています。

問 電波が入りにくい公民館（各字集会場）があるとと思われるが、対応、対策は。

答 町長 各字公民館は避難所となっており、字区長からも電波改善要望が出ている公民館もあります。屋子母公民館はアンテナ及び電波改善装置を設置し、改善されました。今後も各字区長と連携を取りながら改善に努めていきます。

問 大山野営場周辺整備の構想、計画は。



大山野営場

答 町長 沖永良部で唯一の林間野営場として町民の憩いの場としての機能を有した施設であります。現状はトイレや炊事棟は使用不可となっております。今後は町民の憩いの場としての機能、展望台周辺の整備（花畑、モネの池）遊歩道整備等、町内観光施設と一体となった整備をすすめ、観光浮揚に繋がるよう国、県の事業を活用して再整備に取り組んでいきます。

問 町のホームページの更新について。

答 町長 ホームページの情報発信は各業務を所管する所属所から行っています。情報発



製氷機施設（知名漁港）

答 町長 管理体制やランニングコストの課題もあり、様々な施設、機器を検討し、内陸部への施設導入も考え、町民が幅広く利用出来るよう、利便性を考慮した製氷機施設を検討する必要があると考えております。

問 知名漁港施設整備計画は。

答 教育長 緊急性や費用対効果等を考慮し、エアコン、水道雨漏り、遊具等修繕。今後は築20年以上の学校施設の予防改修、照明のLED化、各小学校のバリアフリー改修工事を計画しております。

問 学校施設の修繕内容や今後の修繕計画は。

信の精度を上げるため、職員に周知・教育を行い、所管する情報を整理し速やかに更新するよう努めてまいります。

城村 誠議員



島ム二と子供達を絆ごう

教育長／島ム二推進協議会を立上げ

動画配信はこちら



島ム二忘りゆんきや
島忘りゆん・島忘りゆん
きや親忘りゆん

問 島ム二にちなんで6月2日を「えらぶ島ム二の日」に両町で制定しては。

答 教育長 協議会を立ち上げ和泊町と検討する。

問 分かりやすい質の高い録音・録画資料が必要では。

答 教育長 国立国語研究所とも連携し検討する。

令和5年度 危機的な状況にある

言語・方言

サミット 与那国島大会

7月 方言 方言 方言 方言 方言 方言 方言 方言

10/14 (土) 13:10 - 17:45
10/15 (日) 10:00 - 15:45

与那国町立久保原小学校
与那国町及び多良野町
（与那国町立久保原小学校）

どなたでも参加可能
事前申込み不要
参加費無料

オンライン配信について
オンライン配信は行わず、配信、YouTubeのライブ配信を含め、Zoom、LINEなどで録音録画も行う予定

主催・共催 文化庁、沖縄県、与那国町、与那国町教育委員会、与那国町地産物産課、与那国町観光協会、国立国語研究所、国立大学法人琉球大学

問 島ム二検定を取り入れ子どもたちの興味を引けないか。

答 教育長 各学校で様々な継承活動に取り組んでいるが、協議会で検討する。

えらぶは一つ。島を想う心に知名も和泊もない。

問 関係人口創出戦略の成果は。

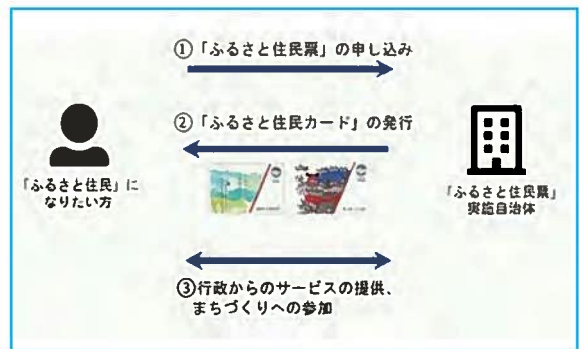
答 町長 4つの基本目標を最終年度令和6年度に総合的検証を行う。

- 1、いつまでも暮らし続けた環境の維持・整備
- 2、持続していくためのコミユニティの創出・育成
- 3、未来を支える産業競争力の強化と次世代を担う人づくり
- 4、知名町への新しい人の流れをつくり、関係人口の増加を目指す。

問 「ふるさと住民登録制度」を導入し島とゆかりのある方々と共に魅力的な地域づくりを目指しては。

答 町長 ふるさと納税獲得にも有効な手段と考える。先行自治体の状況を確認しつつ検討する。

問 沖永良部島一体としての活動により重きを置くべきでは。



あなたと「ふるさと」づくり

答 町長 島に住む若者たちが「シマスキ」を立ち上げ各種イベントで活躍している。認知度の高い「沖永良部島」が「知名町」にするか見極めながら事業にあたる。

「年収の壁」を意識せず働く女性の後押しを。

問 保育教諭の人材バンクを設立し慢性的な人手不足の解消を。

答 町長 県の保育士人材バンクと業務提携契約を結んだ。保育士として就労を希望される方の登録をお願いしたい。

問 パート・アルバイトで働く方の一時的に収入が上がって

も扶養から外れない制度が始まったが。

答 総務課長 国の素晴らしい制度なので商工会等で積極的に活用してほしい。



潜在保育士の手助けに

「年収の壁・支援強化パッケージ」

厚生労働省からのお知らせ

パート・アルバイトで働く方が

「年収の壁」を意識せず

に働ける環境づくりを後押しします。



「がんばる」あなたのために

令和5年 第4回知名町議会定例会議決結果

議決番号	付 議 件 名	議決結果	福川議員	奥山議員	城村議員	窪田議員	川畑議員	新山議員	根金議員	西議員	宗村議員	今井議員	外山議員
議決第114号	知名町職員の給与に関する条例及び知名町一般職員の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第115号	知名町長等の給与等に関する条例及び知名町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第116号	第2号会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第117号	令和5年度知名町一般会計補正予算（第4号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第118号	令和5年度知名町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第119号	令和5年度知名町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第120号	令和5年度知名町下水道事業会計補正予算（第3号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第121号	知名町手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第122号	知名町国民保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第123号	昇竜洞の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第124号	奄美群島広域事務組合理約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第125号	知名町空家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第126号	議員派遣の件について	決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第127号	閉会中の継続調査の件について	決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決第128号	閉会中の継続調査の件について	決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

お詫びと訂正 議会だより第170号4ページ 歳出総額に誤りがありました。下記のとおり訂正してお詫びいたします。 (誤) 歳出総額約105億6988万円 → (正) 歳出総額約97億2066万円

議会の動き

9月

- 19日・議会改革推進会議
- 20日・総務文教・経済建設常任委員会
- 27日・議会報編集委員会
 - ・全員協議会
 - ・経済建設常任委員会
- 29日・令和5年第2回沖永良部バス企業団定例会

10月

- 5日・議会改革推進会議
 - ・議会運営委員会
- 19日・議会運営委員会
 - ・全員協議会
 - ・まちづくりワークショップ
 - ・議員研修会
- 20日・議会と町民との意見交換会
 - ・ワークショップ・意見交換会
 - ・議会改革推進会議
- 24日・沖永良部・与論地区広域事務組合臨時議会
- 29日・議会改革推進会議
- 31日・離島町村議会議長行政調査

11月

- 2日・令和5年度 町議会学校訪問
 - ・経済建設常任委員会
 - ・学校管理職との意見交換会
- 7日・県議長会主催議会広報研修会
- 8日・総務文教常任委員会 所管事務調査
 - ・経済建設常任委員会 所管事務調査
- 9日・総務文教常任委員会 所管事務調査
 - ・経済建設常任委員会 所管事務調査
- 16日・議会運営委員会
- 20日・全員協議会
 - ・ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ事業調査特別委員会
 - ・議会報編集委員会
 - ・経済建設常任委員会
- 21日・奄美群島広域事務組合議会
- 22日・議長会理事会
- 24日・町長へ決算審査の意見の申し入れ
- 28日・第41回離島振興市町村議会議長全国大会
- 29日・第67回町村議会議長全国大会
- 30日・令和5年沖永良部衛生管理組合前期監査

12月

- 1日・総合事務組合第2回議会定例会
- 5日・議会運営委員会
 - ・全員協議会
 - ・議会勉強会 食と健康について
 - ・議会勉強会 YM菌有機物ごみ処理場



元日に発生しました能登半島地震で尊い命を亡くされた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

ライフラインをはじめ一日も早い復旧・復興が成され、元の生活に戻れることを願っています。

知名町議会一同



消防防災訓練

- 発行：鹿児島県知名町議会
- 編集：議会報編集委員会
- 発行日：令和6年2月13日
- 〒891-9295
鹿児島県大島郡知名町知名307
TEL 0997-93-3119

議会を傍聴してみませんか。

議会の定例会は、年4回(通常3月、6月、9月、12月)開催され、必要に応じて臨時会が開催されます。

提出された議案は、本会議において提案理由の説明、質疑、討論、採決されます。また、議員が一般質問を行うのも本会議です。

本会議は公開されており、どなたでもその様子を見ることができますので、お気軽にお越しください。



議会の模様をインターネット配信しています。パソコンやタブレット端末などでライブや過去の中継記録映像をご覧いただけます。知名町ホームページ、議会中継のボタンをクリックしてください。